

別記様式第2号

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業(令和2年度)に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			評価機関名	東北農政局
						目標値	基準年 令和2年度	目標年 令和5年度	達成率	具体的な 取組内容	
青森県	—	青森県花のくにづくり推進協議会	花き	令和2年度	青森県における花き(トルコギキョウ)の生産額の増加	169,627千円	154,206千円	147,264千円	-45%	・産地における切り花の日持ち性向上技術等の実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、園芸体験推進	フラワーフェスティバルでの大型アレンジメント展示や幼稚園での花壇植付け体験等を通して、花に触れあう機会を増加させることで、花きの効用が理解され、花きの文化活動の活発化につながったものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	青森市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の増加	10,053円	9,574円	8,250円	-276%	・産地における切り花の日持ち性向上技術等の実証実施 ・花き需要拡大のためのプロモーション活動、園芸体験推進	フラワーフェスティバルでの大型アレンジメント展示や幼稚園での花壇植付け体験等を通して、花に触れあう機会を増加させることで、花きの効用が理解され、花きの文化活動の活発化につながったものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
岩手県	—	いわて花と緑の普及協議会	花き	令和2年度	岩手県における花きの産出額の増加	45.8億円	41.6億円	45億円	81%	・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催 ・花文化と併せた国産花きの情報発信 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	「いわてフラワーデー」の開催や花育体験・園芸体験の実施等を通して需要拡大を図り、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、夏季の記録的な高温の影響による生産量の減少により、成果目標の達成には至らなかった。 このため再度改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	盛岡市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の増加	11,403円	10,860円	10,949円	16%	・フラワーコンテスト、花文化展示会、シンポジウムの開催 ・花文化と併せた国産花きの情報発信 ・学校・福祉施設等での花育体験推進	「いわてフラワーデー」の開催や花育体験・園芸体験の実施等を通して需要拡大を図り、成果目標の達成に寄与する取り組みを行ってきたものの、夏季の記録的な高温の影響による生産量の減少により、成果目標の達成には至らなかった。 このため再度改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
宮城県	—	宮城県花と緑普及促進協議会	花き	令和2年度	宮城県における花きの産出額の増加	3,324,922千円	3,022,656千円	2,348,820千円	-223%	・県産花きの課題解決のための検討会議の開催 ・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・県産花き需要拡大のための産地交流会の開催	県産花き各品目において生産・流通・消費の現状及び課題について検討、実証を行い、また、産地交流会を実施し県産花きの生産・販売の契機とするなど、生産額向上に向けた取組を行ったものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	仙台市における花きの消費金額(二人以上の世帯1世帯当たり)の増加	14,198円	13,522円	7,809円	-845%	・県産花き需要拡大のためのプロモーションイベント、花育移動教室の開催	取組によって、消費者に対して県産花きの魅力発信及び需要喚起が図られ、県産花きの消費拡大が図られたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			具体的な取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局（北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局）の評価所見
						目標値	基準年 令和2年度	目標年 令和5年度	達成率		
秋田県	—	秋田県花きイノベーション推進協議会	花き	令和2年度	活動区域における「ディスバッドマム」の販売数量の増加	175千本	159千本	276千本	731%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・現地研修会、先進地調査の実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。
	—		花き	令和2年度	活動区域における「ディスバッドマム」販売業者の取扱数量の増加	197千本	188千本	137千本	-567%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・現地研修会、先進地調査の実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	技術研修や実証ほの設置、イベント会場での展示などにより、生産現場、消費者双方で認知度が高まり、販売数量の成果目標を達成したものの、販売業者の取扱数量の成果目標については達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	活動区域における「ダリア」の販売数量の増加	769.3千本	699.3千本	403千本	-423%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	生産技術向上のための取組や花きのプロモーション活動の実施等、成果目標の達成に寄与する取組を行ってきたものの、猛暑や大雨により株落ちや生育停滞となり生産量が激減した。また、秋田県産が特に品薄となった影響が大きく、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	活動区域における「ダリア」販売業者の取扱数量の増加	58千本	55千本	39千本	-533%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動実施	生産技術向上のための取組や花きのプロモーション活動の実施等、成果目標の達成に寄与する取組を行ってきたものの、猛暑や大雨により株落ちや生育停滞となり生産量が激減した。また、秋田県産が特に品薄となった影響が大きく、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	活動区域における「ランキユラス」の販売数量の増加	178.2千本	162千本	217千本	340%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・先進地視察調査の実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。
	—		花き	令和2年度	活動区域における「ランキユラス」販売業者の取扱数量の増加	52.3千本	50千本	57千本	304%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・先進地視察調査の実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成 果 目 標 の 達 成 状 況			具体的な取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局（北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局）の評価所見
						目標値	基準年 令和2年度	目標年 令和5年度	達成率		
山形県	—	山形県花き生産連絡協議会	花き	令和2年度	山形県における花きの産出額の増加	78億円	70億3千万円	70億円	-4%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施	技術実証や検討会の実施による県産花きの安定供給及び品質向上、展示会や花育による興味関心の高まりや家庭での購入機会の増加等に結びついたものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	山形市における花きの消費金額（二人以上の世帯1世帯当たり）の増加	11,500円	10,900円	12,162円	210%	・生産供給体制強化のための技術実証、検討会実施 ・県産花き需要拡大のためのプロモーション活動、花育体験実施	成果目標は達成しており、事業の取組の成果が認められる。
福島県	—	福島県花き振興協議会	花き	令和2年度	福島県における花き（きく）の10a当たり収量の増加	23.8千本	22.7千本	23.5千本	67%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のための品評会の開催、花育体験の推進	取組によりきくの電照栽培導入を推進した結果、電照栽培導入面積は基準年比で108%と増加が見られるなど、技術普及が着実に進んでいるものの、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	福島県における花き（トルコギキョウ）の作付面積の増加	23.1ha	21.0ha	16.6ha	-210%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のための品評会の開催、花育体験の推進	実証ほを設置したいわき地方ではトルコギキョウの生産部会が設立されるなど新たな産地育成に向けた動きがみられるものの、トルコギキョウの主産地である会津地方で高齢化等により作付面積減少したため成果目標は達成できなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。
	—		花き	令和2年度	福島市における花きの消費金額（二人以上の世帯1世帯当たり）の増加	15,320円	14,590円	11,959円	-360%	・生産供給体制強化のための技術実証実施 ・花き需要拡大のための品評会の開催、花育体験の推進	切花購入頻度が全国的に減少する中で全国と比較して購入頻度は高い水準を維持しているものの、福島県においても減少したため、成果目標の達成には至らなかった。 このため、改善計画書の提出を求め、成果目標の達成に向け、必要な指導を行うこととする。

（注）成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。